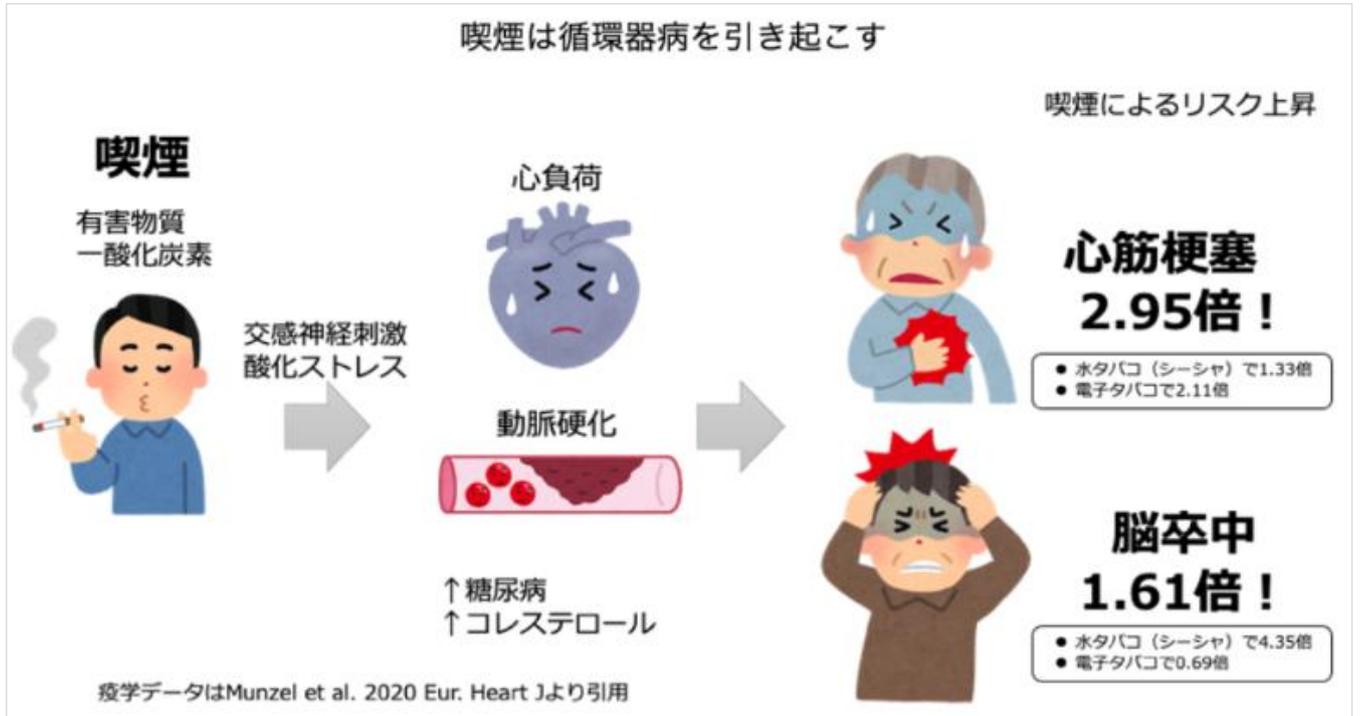
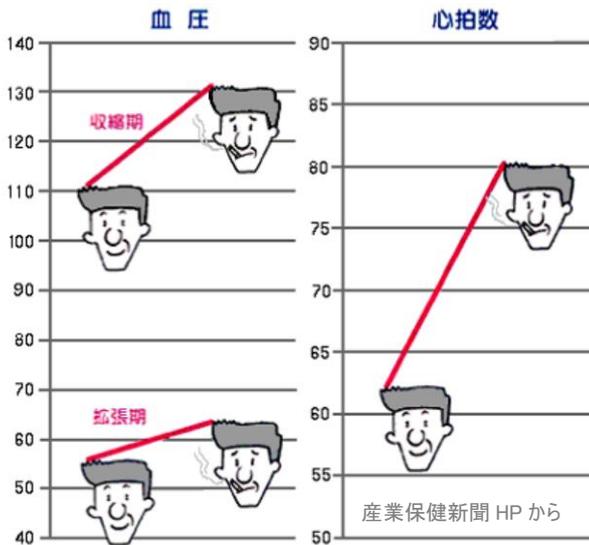


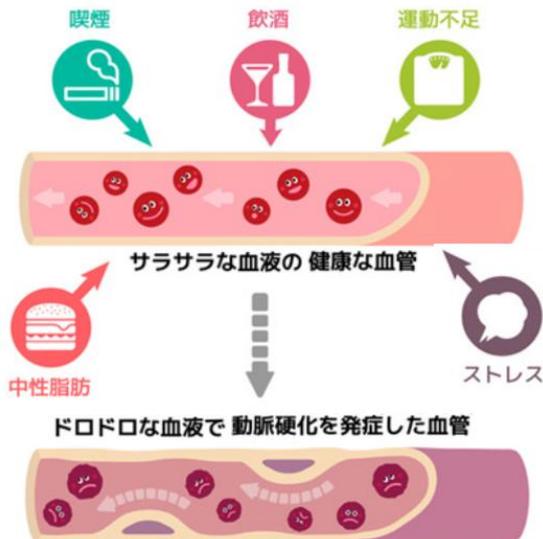
週刊 **タバコの正体**



日本循環器協会 HP から



〔Groppelli A, Omboni S, et al: J Hypertens 1990;8(Suppl 5):S35.〕より



わくわく T-PEC 健康経営サイトから

タバコを吸い続けると身体はダメージを受け続けるので、いろいろな病気を発症します。そんなダメージを受ける器官の一つに”血管”がある事を知っているでしょうか。

左のグラフは、タバコを吸うと血圧と心拍数が上昇する事を示しています。これは、タバコの煙に含まれるニコチンが血管を収縮させるためです。それだけではなく、喫煙は血液の流れを悪くする動脈硬化の要因となる事もわかっています。

その結果、上図のように心臓の血管が詰まる”心筋梗塞”や脳内の血管が詰まる”脳卒中”を発症する確率が高くなるのです。

脳や心臓の血管が詰まって血液が流れなくなれば、命にかかわる緊急事態です。タバコを吸い始めるとそんな危険なリスクを負うのですから、タバコに手をだしてはいけません。

産業デザイン科 奥田 恭久